

2025 年 7 月 1 日

佐々木 康彰新社長 就任あいさつ（要旨）

当社では、西本前社長の強力なリーダーシップにより、中期経営計画「変革への挑戦：KX2027」が策定され、本年から取り組みをスタートしている。私の役割は、当社の創立 110 周年にあたる中期経営計画最終年度の 2027 年度に社員全員で喜びを分かち合えるよう、そして KOEI Vision 2030 達成への道筋をつけられるよう、この中期経営計画の達成に向けて全社員と一緒に邁進していくことである。当社の経営基盤であり、経営の普遍的な運営方針である「安全を第一優先とした事業活動」「コンプライアンス遵守」「顧客との間でコミットした品質確保」に加えて、これまでの経験から、3 点抱負を申し上げたい。

（1）事業は総力戦である

製造・販売・研究・間接部門の全員が、全社目標の達成に向けて切磋琢磨しながら議論、協力し、その総和として成果を獲得するという意識を持って仕事をしていただきたい。相互理解と相互尊重の精神で業務にあたることが何より重要であり、組織を越えて自由で闊達な議論を行うことを通じて、より良い成果を目指していただきたい。経営としても現場を大切にし、皆さんの意見を吸い上げ、意思決定のスピードをあげることが、顧客から信頼され、特色のある化学企業として存続していくための最低条件であると考えている。迅速な意思決定を堅持しながら皆さんの総力を具体的な成果へとつなげていきたい。

（2）風通しの良い社内の風土が必須

上下縦横に向けて意見が言い易く、働きやすい職場環境を作ることは経営の責務である。そのために、役員自らが率先して現場とのコミュニケーションを図ることが何より大切であり、私自身も皆さんと積極的にコミュニケーションをとっていく。皆さんも気軽に応えていただくとともに、風通しの良い職場づくりを意識して日々の業務にあたっていただきたい。

（3）失敗を恐れずにポジティブに仕事に取り組む

当社が創業 100 年を超える歴史と伝統のある企業として存続しているのは、諸先輩方が様々な苦難を乗り越え、新しい事業、製品を生み出してきたからである。現状維持ではなく、失敗を恐れず、しかし信念を持って課題に果敢に挑戦し続ける、そのような会社を目指したい。

現代は、「VUCA」すなわち Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の時代と言われるように、世界中で予想もしないような事態が立て続けに起こっている。こうした先の見通せない時代だからこそ、企業がその目的を達成するために集まった人で構成され、その総和こそが企業全体の力であることを思い起こす必要がある。経営は勿論のこと、社員一同力を合わせて、強い気持ちを持ってこの総力戦を勝ち抜いていきたい。

以 上